

文久三年十二月七日より文久三年十二月十日まで

P8311062 right

七日寅卯 陰夕前行初降

栄転賀糕十家へ使を出す、出 殿、河内守殿御談にて石州病の容体聞合遣す、退出薄晩に近し、長藏家内のもの柑一籠を携へ賀糕の謝旁出立頃合聞合来りし旨、良造同断

謝に来りし旨、大越より寒見舞としてシツホク(※)物一大筥贈り来る、今夕泉賢吉引移る、金港賀州より御用状にて亜(米国)ミニストル書簡一書又被書両殿に届く、曉に近し

八日卯辰 晴

昨来書翰翻訳の為め禮藏五郎へ呼上げ一書遣す、賀糕使十(九)家出す、木村へ寒見舞品遣す、出

殿、ブロン地所貸借の儀に付、亜ミニストル談判として明日金港出張の旨被命、退出薄晩に至る

金港町田(耕)より霜糖 ■【文字判読不可】■方贈り来り、且永持、伊藤への届物二書さし越旨

太郎 □書有し

医道玄を招し旨、痘瘡には無し歟、□に勉めれり

P8311062 left

九日巳 晴

賀糕使残り松本(秀) ■使行く積り、朝第九字時頃、出立梅荘にて、大久保 □州に偶々出会金港迄

連騎夕第四時前横浜弁天地、明き御役宅へ着、□祭金吾へ明日の斉銀など打合、文通遣す 彼方

支配向より家来迄申来る、楽太郎、太左衛門等追の尋問せり

十日午 晴

運上所へ持、金吾同道支配向にも、朝第九時亜コンシユル館へ至り同国ミニストルへ面晤の処種々

談候得共、取纏り不申、甲豫両州、本日 □西仮条約の儀に付参着の積故、右兩人へも相談いたし

度件に有しに付、談判を一抵に引上げ午時頃、退 □ブロンな □ □は既に新居留地にて西洋六十三年

第二月一日貸渡せし段、今朝フレツキマン引合の筋申出、取調の処、右に相違無し趣、今に至り 彼是不都合筋の事共有し、右等取決談判の大意等御用状差立る、甲豫両員着せし □とも

*1:シツホク、卓袱(しっぽく)料理?

()内は細字双行(二行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。